別府大学大学院カリキュラム・ポリシー

１．文学研究科博士前期課程（修士課程）カリキュラム・ポリシー

文学研究科博士前期課程（修士課程）は、建学の精神「真理はわれらを自由にする」に基づき、伝統的人文学領域の創造的継承と新しい学問領域の構築をめざすとともに、時代の要請に応え、地域の知識基盤社会を支える豊かな学識と実践能力を備えた有為な人材を育てることを目的としています。このような目的を実現するために、本課程では以下の方針でカリキュラムを編成します。

①真理探究の方法論を確実に習得できると同時に、現実社会に適用できる実践的なプログラムであること。

②地域特性を意識すると同時に国際的視野をもった人材の養成のプログラムであること。

③専門性と大きな視野をもった人材を育成するため、専攻の専門性を保ちつつ、専攻のを超えた学際的なカリキュラムであること。

また、カリキュラムの実施に当たっては、各専攻の教育目標に従って、講義・指導の担当者がシラバスを作成し、科目の到達目標、学習内容、成績評価の方法、事前準備などを明示し、自己点検・自己評価を行い、ＦＤ活動を通じて、教育の改善を図るように留意します。さらに、研究指導においては、研究の進捗状況を把握し、適切な指導ができる体制を確保します。

このような本課程の教育過程編成・実施方針に基づき、各専攻は以下の方針でカリキュラムを編成します。

（１）歴史学専攻

歴史的専門知識を修得できるようにするため、日本史領域では、地域社会の歴史像の構築をめざす史料解読と、アーカイブズ領域では、史料を保存・整理する理論と技法、東洋史・西洋史領域では、史料及び研究文献を原典で理解し、世界史的視野を獲得できるカリキュラムを編成します。また、編成にあたっては、領域相互の交流にも留意します。

（２）日本語・日本文学専攻

日本語・日本文学それぞれについて時代別に日本文学・日本語学のあり方を理解することで伝統の継承と歴史の理解を深めるとともに、比較文化研究、日本文化論、異文化交流研究などの科目を設置し国際的視野から広く対象をとらえることができるカリキュラムを編成します。

（３）文化財学専攻

考古学、文化財分析科学、保存修復学、環境歴史学、民俗学、美術史学など文化財に関する幅広い、さまざまな知識と技能を習得できると共に、対象の持つ地域的特色の把握にとどまらず、国際的視野で発想し得るような人材を育成できるカリキュラムを編成します。また、演習などを中核に現場実習、実技実習などを通じて現実社会に即応できる学生を養成します。

（４）臨床心理学専攻

心理援助の基本姿勢を学ぶ総論的カリキュラムと、心理援助の方法と対象分野別の各論的カリキュラムを編成します。実践力をつけるための学内・外の実習を段階的組織的に組み込みます。

２．文学研究科博士後期課程カリキュラム・ポリシー

文学研究科博士前期課程（修士課程）は、建学の精神「真理はわれらを自由にする」に基づき、博士論文の作成を通じて、研究者として自立して活動できる高度な研究能力と豊かな学識を養い、教育職や博物館・美術館などの専門職を目指す有為な人材を育成することを目的としています。このような目的を実現するために、指導の目標を明示し、毎週の研究指導を実施するとともに、博士論文提出までに学会などの場で複数の公開発表の機会等を設け、研究能力の向上を図ります。

このような本課程の方針に基づき、各専攻は以下の方針で教育研究指導を行います。

（1）歴史学専攻

日本史・東洋史・西洋史の３領域において、学会等で発表、学術雑誌論文の作成などができるように、先端的研究を推進する技法・理論を修得させ、博士論文作成を目標に指導を行います。

（2）日本語・日本文学専攻

日本語・日本文学の研究において独創性を持った論文作成ができるように専門知識と理論を習得させます。また研究者としての自覚を高めるために学会に積極的にかかわらせ専門分野で次代を担うことのできるように研究能力の向上をはかります。

（3）文化財学専攻

それぞれの文化財に関する高度な専門知識と技能を習得できるように研究指導を行ないます。また、学会などの活動に積極的にかかわらせ、常に研究成果を公表し、向上させてゆくように指導します。

３．食物栄養科学研究科食物栄養学専攻カリキュラム・ポリシー

教育目標を達成するため、「食と栄養」に関連した領域の高度専門職業人、研究者、教育指導者を養成するための体系的なカリキュラムを編成する。

（1）食物学分野の研究領域である「食品科学領域」、栄養学分野の研究領域である「基礎栄養科学領域」、公衆栄養学や臨床栄養学などの研究領域である「実践栄養科学領域」、食品製造や食品微生物学およびバイオテクノロジーの研究領域である「発酵食品科学領域」を柱とした専門科目を基本的な構成とする。

（2）さらに上記４つの領域を包括する「領域共通科目」を配置する。

（3）各領域科目は、それぞれの専門分野を包括する独立の教育・研究単位であるが、各々の研究領域や研究領域間の多様な研究課題に、多角的・融合的に対応することのできる内容とする。

（4）「食品栄養科学領域」、「基礎栄養科学領域」、「実践栄養科学領域」、「発酵食品科学領域」のうち、自ら選択した領域から６単位以上、その他の２つ以上の領域からは８単位以上を選択し、計14 単位以上を履修しなければならない。

（5）「領域共通科目」から４単位以上を選択し、「テーマ研究」14 単位とともに18 単位以上が必修となっている。修了時は合計32 単位以上を修得し、かつ学位論文の審査及び最終試験に合格する必要がある。

別府大学大学院ディプロマ・ポリシー

１．文学研究科博士前期課程（修士課程）ディプロマ・ポリシー

組織的な教育・研究体制ならびに体系的な教育課程のもとで研究を深化させ、その成果として、十分な学問的水準に到達した学位論文を作成した学生に対して最終審査を行い、これに合格した者に対して、学位規定の定めるところにより修士（文学）の学位を授与します。

①学位の客観的水準を確保するため、最終試験の発表を公開します。

②専攻分野について精深な学識と研究能力の有無を確認するため最終試験を実施します。

③審査に当たっては、専門的な職業人として知識、技能、広い研究関心をもつかなどについても加味し評価します。

このような本課程の方針に基づき各専攻は以下の学位授与の方針に基づき学位を授与します。

（１）歴史学専攻

日本史・東洋史・西洋史の３領域において、それぞれ専攻する領域に関する専門的な知識と実証的な歴史理解の方法を身につけ、アーカイブズ領域においては、その実務能力を身につけ、専門的職業人としての基礎を有するに至った学生に対し、学位を授与します。

（２）日本語・日本文学専攻

学問的水準に達し、かつ独創性を持つ論文の最終審査に合格した上で実施される最終試験によって日本語・日本文学について高度で専門的な知識をもつと認められ専門的な職業人として社会に還元できると判断された学生に対し、学位を授与します。

（３）文化財学専攻

文化財に関する専門知識と技能を習得するとともに、資料収集能力と分析能力を持ち、文化財関係の専門職あるいは一般職業人として社会に寄与できる学生に対し、学位を授与します。

（４）臨床心理学専攻

臨床心理学研究においては課程の方針に基づき学位論文を作成させ、同時に実践者として知識技能の修得評価を段階的に行い、学内外の実習評価をもとに相談員認定をし、面接相談技能を修得させます。このような能力を確保できた学生に対し、学位を授与します。

２．文学研究科博士後期課程ディプロマ・ポリシー

所定の研究指導を受け、博士論文の最終審査に合格した者に対して、学位規定の定めるところにより博士（文学）の学位を授与します。原則として学外の教員を加えた審査委員の慎重な審議によって、体系的で高度な研究であり、大学等の研究機関の教員・研究者等として活動できる研究能力を有しているかを基準に最終試験を公開して判定を行います。

このような本課程の方針に基づき、各専攻は以下の学位授与の方針に基づき学位を授与します。

（１）歴史学専攻

日本史・東洋史・西洋史の３領域において、高度の専門知識を有し、かつ、先行業績を批判的に継承し、独創的かつ先端的な研究を推進する能力を持つと判断された学生に対し、学位を授与します。

（２）日本語・日本文学専攻

高い学問的水準を持つとともに、専門分野の研究の深化に貢献できる論文の最終審査に合格し、次代を担う教員・研究者としての能力を持つと判断された学生に対し、学位を授与します。

（３）文化財学専攻

文化財に関する高度な専門知識と技能を習得するとともに、優れた資料収集能力と分析能力をも持ち、文化財関係の教育・専門研究職として社会に寄与できると判断された学生に対し、学位を授与します。

３．食物栄養科学研究科食物栄養学専攻ディプロマ・ポリシー

修了時点で次の能力・態度・技術等を身につけていること。

（１）食、健康、生命科学に関する最新の高度な専門的な知識と理解

（２）食、健康、生命科学に関する課題を他者と協力して俯瞰的立場から解決することのできる専門的な能力・技能

（３）栄養管理・給食管理・栄養教育・栄養指導のリーダーに必要とされる能力

（４）生命科学に関する基礎的理解があり、バイオテクノロジーの専門分野に関する最新の知識・技術・技能

別府大学大学院アドミッション・ポリシー

１．文学研究科博士前期課程（修士課程）アドミッション・ポリシー

文学研究科博士前期課程（修士課程）は、建学の精神「真理はわれらを自由にする」に基づき、伝統的人文学領域の創造的継承と新しい学問領域の構築をめざすとともに、時代の要請に応え、地域の知識基盤社会を支える豊かな学識と実践能力を備えた有為な人材を育てることを目的としています。このような目的を実現するために、本課程では、次のような学生を受け入れます。

①研究を遂行できる基礎的資質をもった学生。

②探求への情熱をもち、知識習得の意欲と明確な研究目標をもつ学生。

③地域社会を担うことへの強い関心と意欲をもつ学生。

④国際的な視点で物事を考え、異文化への理解を深めたいと願う学生。

このような本課程の受入れ方針に基づき、各専攻は以下のような学生を受け入れます。

（１）歴史学専攻

日本史･アーカイブズ･東洋史･西洋史のそれぞれの学問領域について基礎的知識を有し、それらの専門知識の修得に意欲があり、研究を遂行できる基礎的資質を持つ学生。

（２）日本語・日本文学専攻

日本語・日本文学における伝統の継承に強い意欲を持ち、それを対象とした研究を遂行できる資質をもつとともに、国際的な視野から日本語・日本文学を理解することを望む学生。

（３）文化財学専攻

考古学、環境歴史学、民俗学、分析科学、修復学、美術史、美術工芸学など、文化財に関する分野の調査・研究について学びたいという強い意欲をもち、それを遂行できるだけの学力を持っている学生。

（４）臨床心理学専攻

臨床心理学分野の研究遂行の基礎的資質とともに、心理援助の実践者（こころの専門家）となりうる資質を備えている学生。人間に対する暖かい関心をもち、冷静に率直に自分を見つめることができる学生。

２．文学研究科博士後期課程アドミッション・ポリシー

文学研究科博士前期課程（修士課程）は、建学の精神「真理はわれらを自由にする」に基づき、博士論文の作成を通じて、研究者として自立して活動できる高度な研究能力と豊かな学識を養い、教育職や博物館・美術館などの専門職を目指す有為な人材を育成することを目的としています。このような目的を実現するために、本課程では以下のような学生を受け入れます。

①修士学位取得者およびそれに相当する能力をもつ人。

②本学の建学の精神を理解する人。

③高度でかつ専門的な研究に取り組む意欲のある人。

このような本課程の受入れ方針に基づき、各専攻は以下のような学生を受け入れます。

（1）歴史学専攻

日本史・東洋史・西洋史の３領域それぞれの分野において、歴史的専門知識を有し、より高度な研究に取り組む意欲のある人。

（2）日本語・日本文学専攻

日本語・日本文学において独創性を持って真理の探究を遂行する能力があり、高度で専門的な研究に取り組む意欲のある人。

（3）文化財学専攻

文化財に関する専門的な調査研究を行いたいという強い意欲をもち、それを遂行できる高度な能力をもつ人。

３．食物栄養科学研究科食物栄養学専攻アドミッション・ポリシー

教育目的や教育目標を踏まえ、次の能力や態度を身につけた入学生を求める。

（1）食や健康に強い関心を持ち、生命科学の基礎的な知識を有している。

（2）急速な高齢化社会の進展に対応できる「食と栄養」に関連した領域の高度専門職業人、研究者、教育指導者として活躍する意欲を有している。

（3）地域住民の医療・健康・福祉の向上ならびに地域社会および国際社会の発展に寄与する意欲を有している。